

参加費
無料

オンラインセミナー 子どもの脳脊髄液減少症

日時 11月19日(日) 14:00~16:00

会場 オンライン (Zoomを使用)

内容

● 講演 「子どもの脳脊髄液減少症について」

講師 医学博士 篠永 正道 先生



脳脊髄液減少症
診断・治療の第一人者

● 体験発表

● 当日の内容は、変更になる可能性があります。

参加対象 保護者、教育・行政関係者、医療関係者 先着順

申込方法 申込期間 10月1日~11月12日 (定員になり次第受付終了)

★右QRコード、または子ども支援チームHPよりお申込みください。

★篠永先生への質問は、申込フォームのメッセージ欄にご入力ください。
講演の中でご回答いただきますが、時間の都合上、全ての質問はご紹介
できませんので予めご了承ください。



● 主催 脳脊髄液減少症 子ども支援チーム ●

ホームページ <http://www.kodomo-cfh-support.net/>

問い合わせ

MAIL

kodomo-cfh@amail.plala.or.jp

TEL

04-7154-3084 (鈴木)



後援



文部科学省

千葉県
兵庫県
神戸市
埼玉県教育委員会

千葉県教育委員会
兵庫県教育委員会
神戸市教育委員会

申込の流れ

- 右のQRコード、または子ども支援チームのHPから申込フォームにアクセスしてください。
- 種別で教育・行政・医療関係者を選択された方は、よろしければ学校(病院)名や養護教諭、小児科医などをご入力ください。
- 申込期間は、10月1日(日)から11月12日(日)まで。定員になり次第締切ります。
- **オンラインセミナー事務局**【seminar.csfh.kodomo@gmail.com】からのメールを受信できるよう、申込前に設定ください。
- ご質問を事前に承ります。ご講演の中でできる限り篠永先生にご回答いただきます。申込フォーム下方にありますメッセージ欄にご入力ください。事前質問の締切は、**10月31日(火)**まで。
- 学校やご家族など複数人でご参加される場合は、デバイスごとにお申込みください。当日は近くで複数の端末を使用するとハウリングしますので、ご注意ください。



※お預かりしました個人情報**は本セミナー以外には使用しません。**

事前の準備

- Zoomを初めて使用する方は、当日お使いになるデバイス(PCやスマホ、タブレット)にZoomアプリのインストールが必要です。
- Zoomの接続が初めての方は、ウェブサイトやYouTubeで「Zoomの使い方」、「Zoomの始め方」と検索していただくと、解説をご覧ください。
- セミナー参加費は無料ですが、通信費がかかりますので、Wi-Fi環境の良い状態でご参加されますことをおすすめします。
- パソコンで参加されます方は、事前に最新にアップデートをお願いします。

参加の流れ

- セミナーに参加するためのウェビナーID、パスコード等は申込時の自動返信メールでお送りします。自動返信メールが届かない場合は迷惑メールをご確認いただき、届いていない場合は、子ども支援チームにお問い合わせください。
- 本セミナーは参加者のカメラはオフの状態（お顔が見えない）、ウェビナー形式で実施します。
- オンラインセミナー(講演→体験発表)中に休憩時間を設けておりませんので、休憩は各自で自由におとりください。

注意事項

- 本セミナーの録画、録音、画像撮影は禁止です。
- セミナーに参加するためのZoom ID等を第三者に教えることは禁止です。

子どもの脳脊髄液減少症

つらい症状が続き、いっこうに良くなならない・・・

病院へ行っても「検査は異常なし」

薬を飲んでも「効果なし」

もしかしたら脳脊髄液減少症かもしれません!?

主な症状は

- * 起立性頭痛
- * めまい・立ちくらみ
- * 全身のだるさ・疲れやすい
- * 手足のしびれ
- * 視力低下・光がまぶしい
- * 耳鳴り
- * 思考力低下・注意力低下
- 体調は天候の影響を受けやすい
- 夕方～夜に体調が悪化する



交通事故や

学内でのちょっとした事故の後
体調が悪くて学校に行くのが
つらくないですか？

親・家族・友だち
学校の先生・病院の先生・・・

周囲の人たちが病気を
理解してくれると
子どもたちの**気持ち**は
軽くなります！

ぼくの
わたしの 体はどうしちゃったんだろう？



お問い合わせは
こちら



脳脊髄液減少症患者支援の会子ども支援チーム

<http://www.kodomo-cfh-support.net/>
E-mail kodomo-cfh@amail.plala.or.jp
Tel&Fax 04-7154-3084

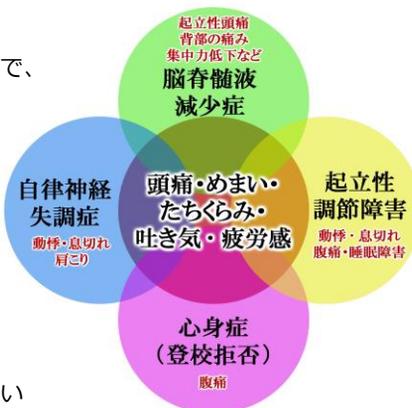


脳脊髄液減少症をご存知ですか？

早期発見・早期治療が最も大切！対処法を知り、重症化を防ぎましょう！

どんな病気？

脳脊髄液減少症は
脳・脊髄を浮かべている
「脳脊髄液」が減ることで、
さまざまな症状がでる
病気です。



主な症状

起立性頭痛・耳鳴り
めまい・吐き気
視力低下・光がまぶしい
首～腰痛・手足のしびれ
全身のだるさ・疲れやすい
思考力・注意力の低下など
体調は天候に左右されやすい。

脳脊髄液が減る原因

軽いけがや、医療行為が原因となる場合もありますが、
原因不明の場合もあります。

発症の引き金となった事故

交通事故(追突・接触・同乗)
転倒(自転車・スキーなど)、尻もち
背部・頸部打撲(柔道・マット運動)
頭部打撲(ボールが頭を直撃)
転落(階段・遊具・組体操)・暴力
椅子引き・衝突・その他



比較的軽微な事故やけがなど、頭部や体への強い衝撃が
なくても、発症する場合があります。
症状が改善しない(悪化する)状態が長期化する場合は
受診をおすすめします。

けが以外の原因

脱水を起こすような発熱、大汗をかいた際の水分摂取不足
検査・手術時の腰椎注射、出産、その他

子どもたちは 社会の認識不足から誤解も…

- 医療機関では、起立性調節障害、片頭痛、心因性などと診断される場合があります。
- 学校では、「不登校」、「怠けている」などと誤解されることもあります。

初めに行う対処法は！

起立性頭痛など脳脊髄液減少症を疑う症状が続いたら
水分を多めに取り、横になって過ごすことが症状改善
に有効。特に子どもには効果が大きい。

早期発見・早期治療が重症化をふせぐ！

安静＋水分補給

治療法は？

こうまくがいじかけつちゅうにゅうりょうほう
ブラッドパッチ治療法(硬膜外自家血注入療法)が効果的な治療法です。

本人の静脈血を硬膜外腔の髄液が漏れている周辺に注入し、血液が固まる性質を利用して漏れを塞ぐ。

- ☆治療後は、効果があっても数ヶ月は重い物は持たない。
- ★体への強い衝撃を避ける。
- ☆体育の授業は見学するなど周囲の理解が必要です。

◆子どもは特に画像診断が難しいことなどから、
症例数の多い専門医への受診をおすすめします。

各県の公式サイトで病院情報をご確認、または、
病院や診療科についてのご質問は **子ども支援チーム**に
お問い合わせください。



* 硬膜(脳・脊髄を覆う膜)の外側の空間

監修：兵庫県明石市 明舞中央病院 副院長 中川紀充

お問い合わせは

脳脊髄液減少症患者支援の会子ども支援チーム

<http://www.kodomo-cfh-support.net/>

E-mail kodomo-cfh@amail.plala.or.jp

Tel & Fax 04-7154-3084

